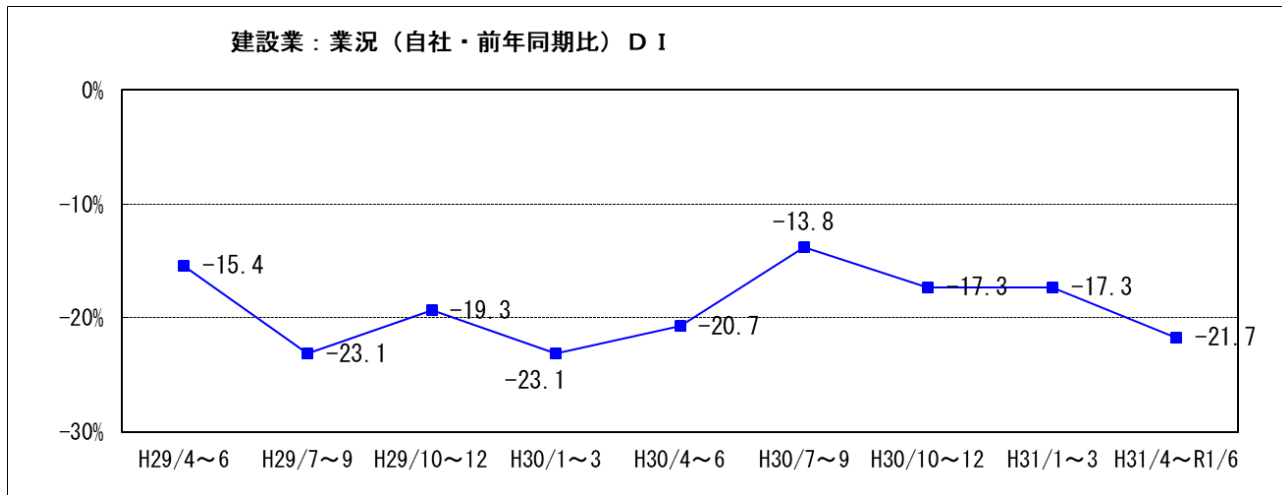


3. 建設業の動向

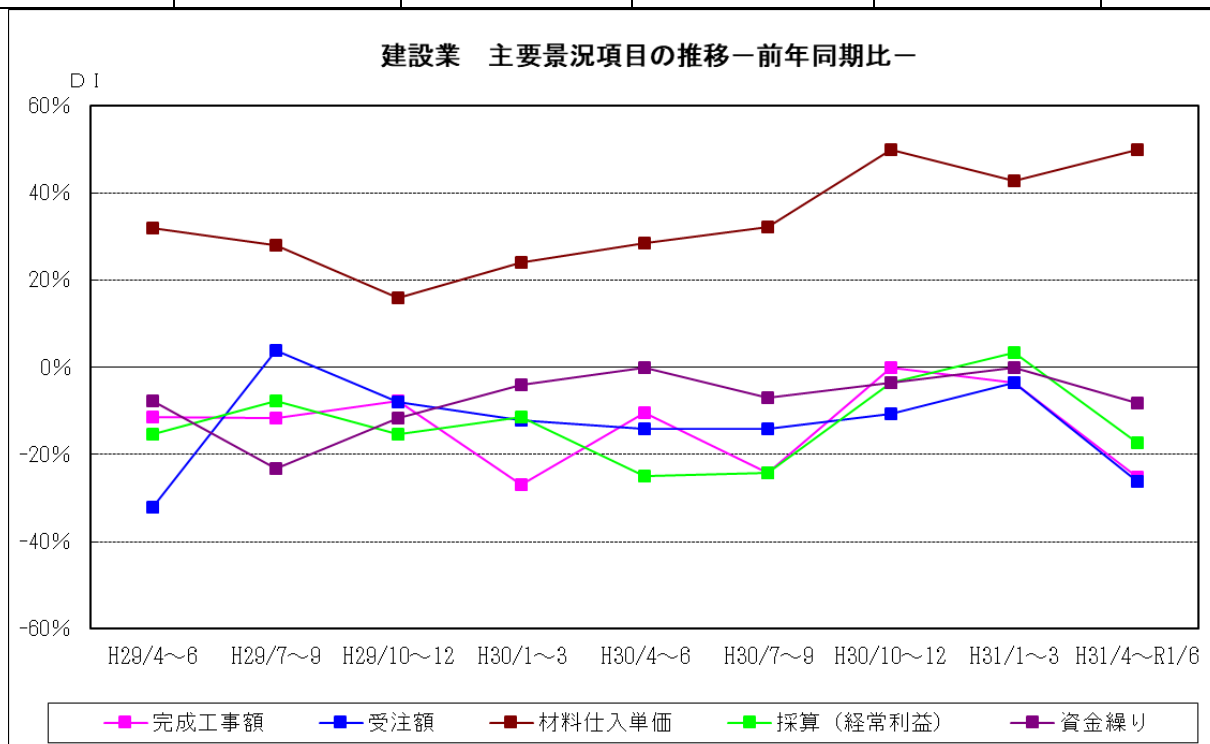
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲21.7。前期の▲17.3から4.4ポイント下降した。
来期見通しは、▲17.4とやや上昇が見込まれる。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

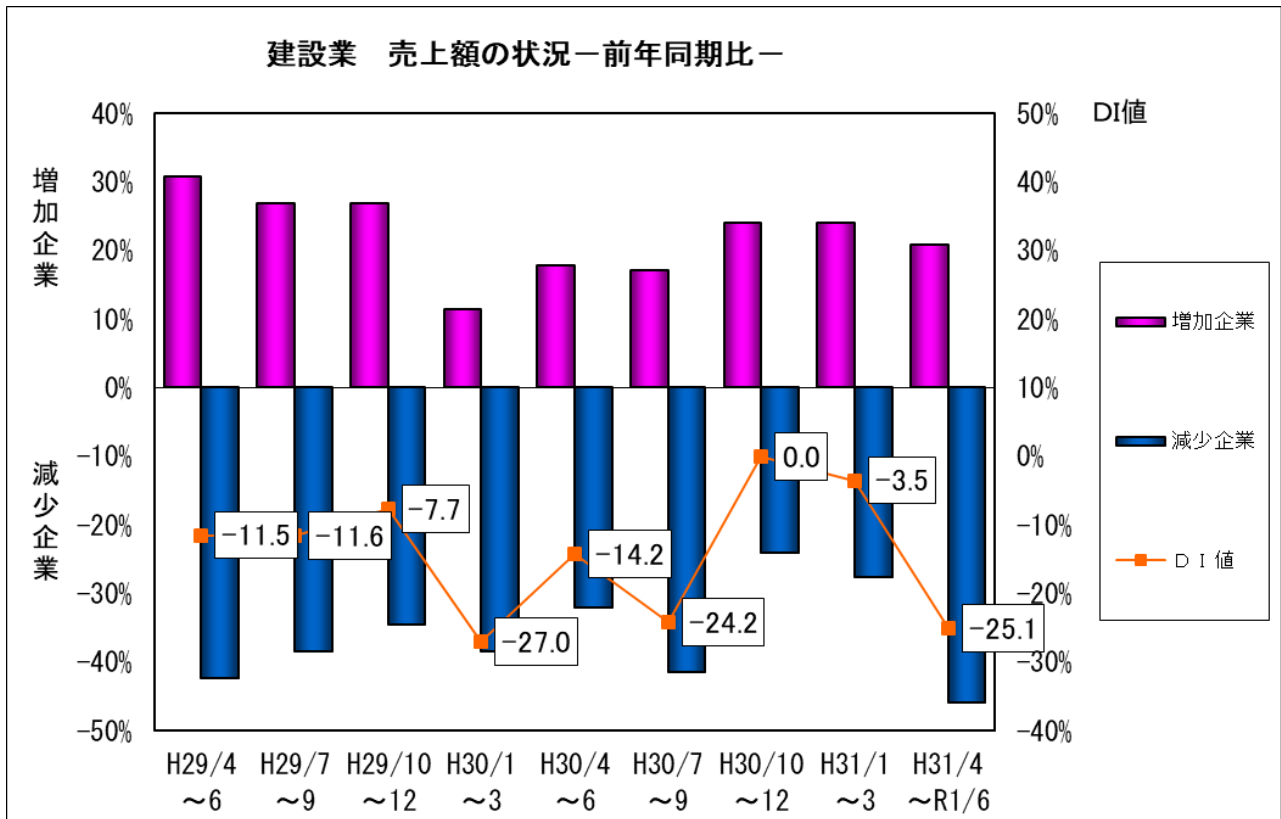
	前々期 (30年7月~9月)	前期(A) (30年10月~12月)	今期(B) (31年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	0.0	▲3.5	▲25.1	▲21.6	▲25.0
受注額	▲10.7	▲3.6	▲26.1	▲22.5	▲22.8
材料仕入単価	50.0	42.8	50.0	7.2	33.3
採算（経常利益）	▲3.5	3.4	▲17.4	▲20.8	▲17.4
資金繰り	▲3.5	0.0	▲8.3	▲8.3	▲12.5



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

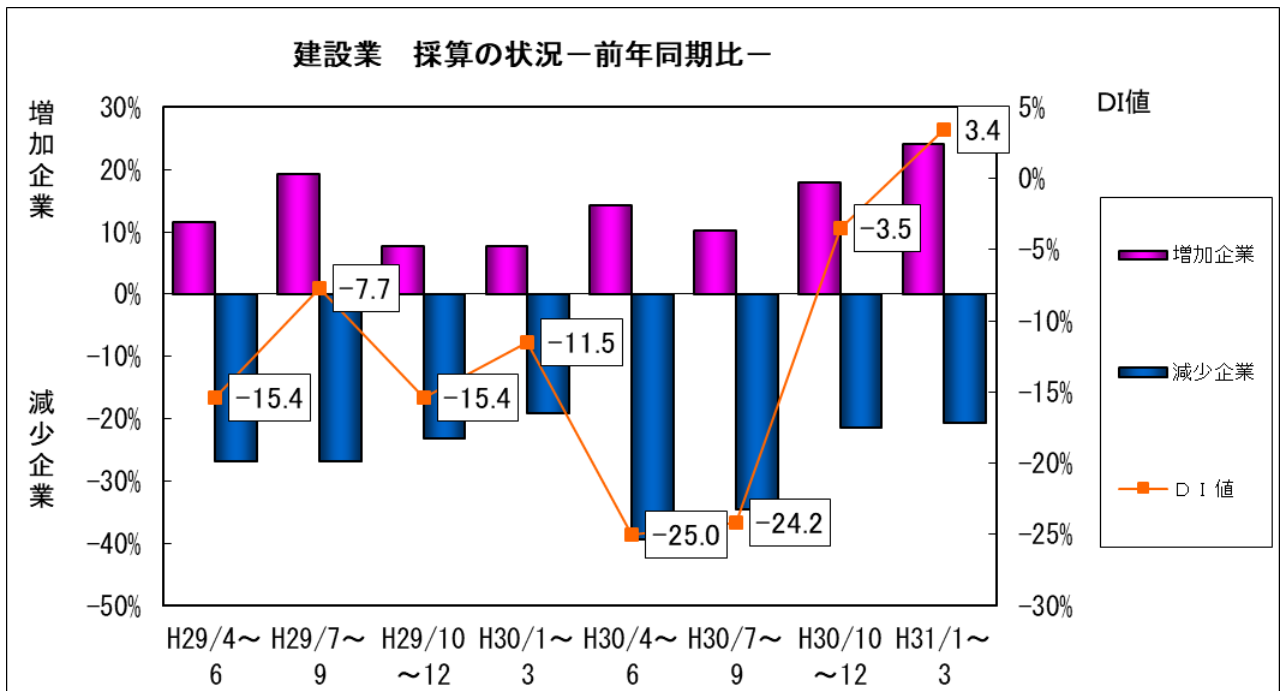
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は▲25.1。前期の▲3.5から21.6ポイント大幅に下降した。来期見通しは▲25.0とほぼ横ばいの見込み。



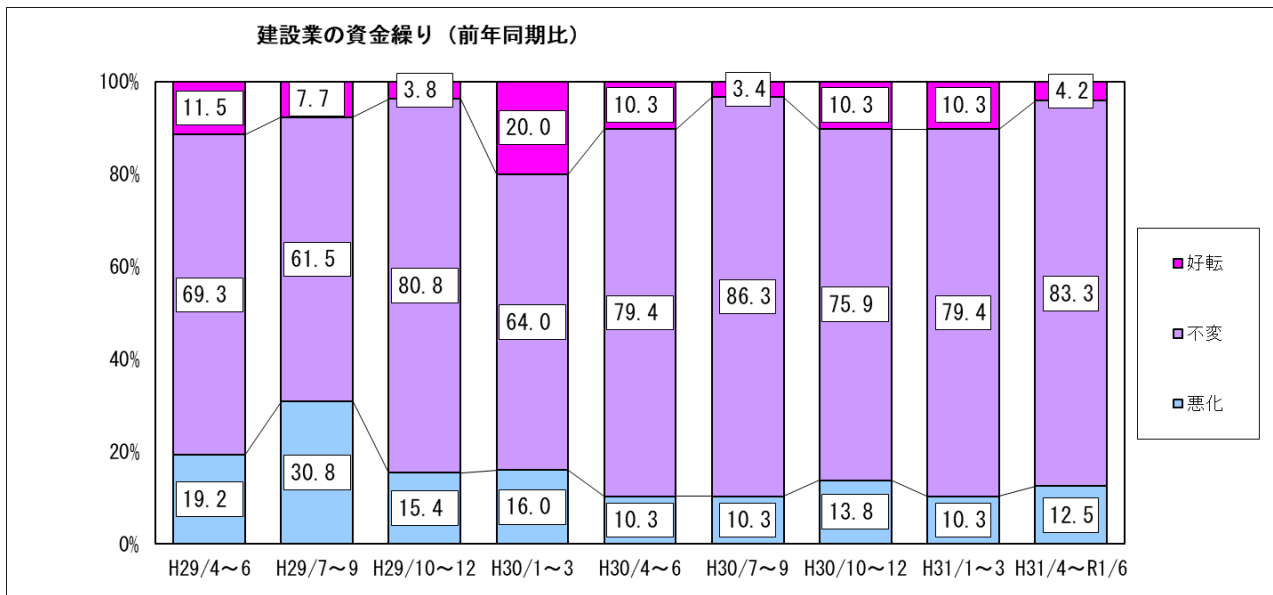
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲17.4。前期の3.4から20.8ポイントの大幅な下降となった。来期見通しは、▲17.4と横ばいの見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は▲8.3。前期の0.0から8.3ポイント下降した。
来期見通しは、▲12.5とさらに下降する見込み。

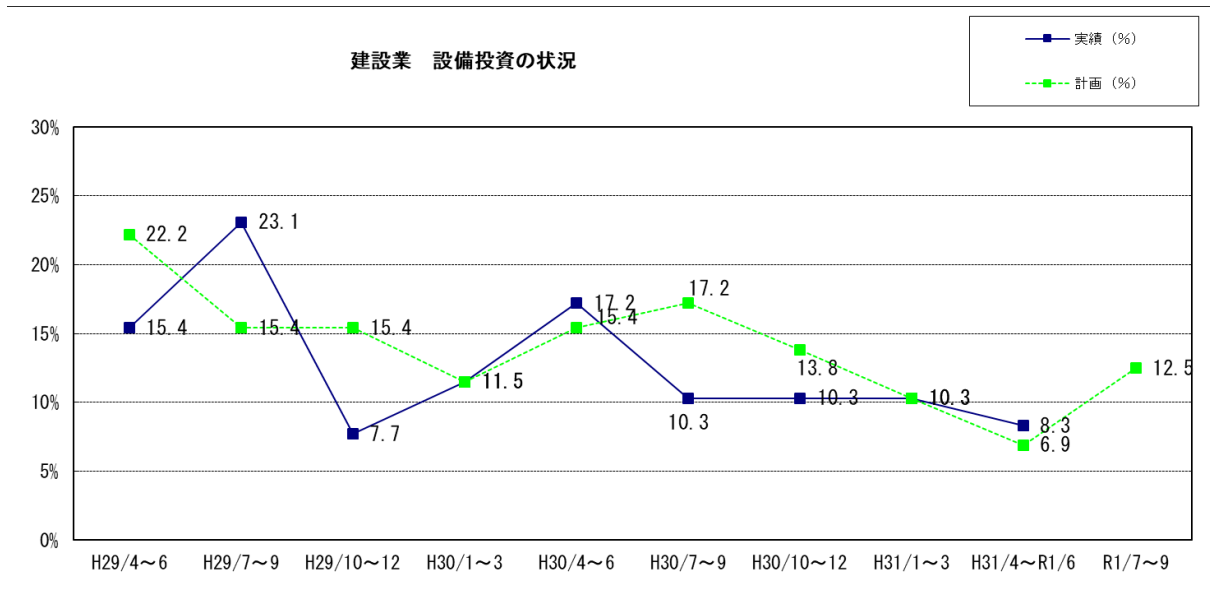


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし	
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他		
前期実施（実数）	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1	26
（%）	10.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	89.7
今期実施（実数）	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	22
（%）	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7
来期計画（実数）	3	0	0	2	0	0	2	0	0	0	21
（%）	12.5	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	87.5

今期設備投資を実施した企業は2社（8.3%）。前期（平成31年1~3月期）の実施企業3社（10.3%）からは減少。来期は3社（12.5%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 22.7%→今期 40.0%)
- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 22.7%→今期 35.0%)
- ・ 「大企業の進出による競争の激化」 (前期 18.2%→今期 30.0%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 4.5%→今期 15.0%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 18.2%→今期 25.0%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 27.3%→今期 30.0%)

となっている。

